

教育委員会定例会会議録

1 日 時

平成29年4月17日（月）

開会 9時30分

閉会 10時10分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 廣田恵子教育長、森脇健夫委員、岩崎恭典委員、黒田美和委員、
原田佳子委員

欠席者 なし

4 出席職員

教育長 廣田恵子（再掲）

副教育長 木平芳定、次長（教職員担当） 浅井雅之、

次長（学校教育担当） 宮路正弘、次長（育成支援・社会教育担当） 辻善典、

次長（研修担当） 山田正廣

教育総務課 課長 長崎敬之

高校教育課 課長 徳田嘉美、班長 萬井洋、主幹 杉阪英則、
充指導主事 柏端正康

特別支援教育課 課長 森井博之、課長補佐兼班長 早津俊一、主査 遠藤純子

生徒指導課 課長 山口香、子ども安全対策監 小林宏行、

課長補佐兼班長 山田喜久、班長 風間泰人

保健体育課 課長 野垣内靖、充指導主事 増田和史

小中学校教育課 課長 野口宏志、課長補佐兼班長 中西公明、

充指導主事 大池和豊、充指導主事 生杉智明

社会教育・文化財保護課 課長 山本寛二、班長 竹田憲治、主任 亀井勇希

5 議案件名及び採択の結果

	件 名	審議結果
議案第1号	三重県地方産業教育審議会委員の任免について	原案可決
議案第2号	平成29年度三重県教科用図書選定審議会委員 の任命について	原案可決
議案第3号	三重県天然記念物紀州犬審査会審査員の任命に ついて	原案可決
議案第4号	三重県天然記念物日本鶏審査会審査員の任命に ついて	原案可決

6 報告題件名

件 名

- 報告 1 平成 30 年度四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要項について
- 報告 2 平成 29 年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について
- 報告 3 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について
- 報告 4 平成 28 年度全国高等学校選抜大会等の結果について

7 審議の概要

・開会宣言

廣田恵子教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（3月23日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名人の指名

森脇委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第 1 号から議案第 4 号は人事に関する案件であるため、非公開で審議することを決定する。

会議の進行は、公開の報告 1 から報告 4 の報告を受けた後、非公開の議案第 1 号から議案第 4 号を審議する順番とすることを決定する。

・審議事項

報告 1 平成 30 年度四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要項について（公開）

（徳田高校教育課長説明）

報告 1 平成 30 年度四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要項について

平成 30 年度四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要項について、別紙のとおり報告する。平成 29 年 4 月 17 日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長。

今回、報告いたします実施要項は、四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜に係る事務手続き等について規定したものです。関係高等学校等は、この実施

要項に沿って選抜及び選考の事務を行います。

ものづくり創造専攻科は、地元の産業界等からのニーズにより、実践的な技術・技能を身につけた人材育成をすることを目的として、平成30年度より設置するものであります。1ページ「1 募集」「(1) 応募資格」をご覧ください。9月に実施する特別選抜は、志願することのできる者を、県内高等学校の工業に関する学科を平成30年3月卒業見込みの者で、合格した場合、入学を確約できる者とします。

11月に実施する一般選抜は、「イ 一般選抜」(ア)から(ウ)にありますように、志願することのできる者を高等学校もしくは中等教育学校の卒業生又は平成30年3月卒業見込みの者等とし、学科については限定しないこととしています。

「(2) 入学定員」をご覧ください。入学定員は、機械コース、電気コース各10人程度の合計20人とします。

「(3) 募集方法」をご覧ください。特別選抜の受付期間は、土曜日及び日曜日を除く9月1日(金)から9月7日(木)、一般選抜は、土曜日及び日曜日を除く10月26日(木)から11月1日(水)とします。

2ページ「2 検査、選抜及び合格者の発表」をご覧ください。特別選抜は、9月19日(火)に作文及び面接を実施し、9月26日(火)に合否通知書を出身高等学校長に通知します。一般選抜は、11月1日(土)に機械または電気に関する学力検査、面接及び実技検査を実施し、11月17日(金)に、四日市工業高等学校において合格者の受験番号を掲示し、合格者の発表をします。

以上で、四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要項についての報告を終わります。

【質疑】

教育長

報告1については、いかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

報告2 平成29年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について (公開)

(徳田高校教育課長説明)

報告2 平成29年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について

平成29年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について、別紙のとおり報告する。平成29年4月17日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長 特別支援教育課長。

1ページ1の「(1) 前期選抜」をご覧ください。前期選抜は、2月8日・9日に、全日制課程49校116学科・コース、定時制課程5校、12学科、通信制課程1校、1学科で、学科・コースの特色に応じた検査により実施しました。実施校は、全日制

課程、定時制課程及び通信制課程ともに前年度と同じでした。

全日制課程の志願者数は、応募人数3,852人に対して、前年度より373人少ない8,737人でした。志願倍率は、前年度より0.06ポイント少ない2.27倍で、合格内定者は4,164人でした。

定時制課程及び通信制課程については、ご覧のとおりです。

「(2) 連携型中高一貫教育に係る選抜」については、前年度同様、全日制課程2校2学科で実施しました。22人が志願し、22人が合格内定となりました。

「(3) 特別選抜」は、高等学校を中退した者など、既に中学校を卒業した者を対象としています。全日制課程は1校、あけぼの高等学校で実施し、募集人数4人に対して1人の志願者がありましたが、合格内定者がいませんでした。定時制課程は、5校12学科で実施し、募集人数48人に対して、31人が志願し、27人が合格内定となりました。

次に、後期選抜では、3月9日に学力検査を実施し、3月16日に合格者の発表を行いました。全日制課程では募集人数8,148人に対して、9,197人の志願者があり、志願倍率は、前年度より0.03ポイント低い1.13倍でした。

定時制課程では、募集人数570人に対して、志願者数は168人でした。志願倍率は0.29倍で、前年度を0.09ポイント下回りました。

通信制課程は、募集人数419人に対して、志願者数27人、志願倍率は0.06倍で、前年度と同じでした。

「(2) 合格者の状況」については、ご覧のとおりです。

なお、※印にあります秋期入学者選抜については、北星高等学校で9月に実施いたします。

次に、資料の2ページをご覧ください。再募集は、前期選抜・後期選抜の合格者数が入学定員に満たない学校において実施するものです。平成29年度選抜では、全日制課程21校31学科・コース、定時制課程11校15学科、通信制課程2校2学科で実施しました。募集定員、志願者数、合格者数は、ご覧のとおりです。

追加募集は、再募集においても入学定員に満たない夜間定時制課程の高等学校で行われるもので、夜間定時制課程11校12学科で実施しました。

最後に、合格者総数は、全日制課程が12,173人、定時制課程が403人、通信制課程63人でした。

以上で、平成29年度三重県立高等学校入学者選抜の概要についての報告を終わります。

続きまして、平成29年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について、報告者を特別支援教育課長に替えて説明いたします。

(森井特別支援教育課長説明)

続きまして、平成29年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について報告させていただきます。

資料の説明の前に、特別支援学校の入学者選考の制度についてご説明申し上げます。

県立高等学校では、入学定員を設定し、受検者の中からある基準に従って合格者を選ぶという選抜を実施しております。

一方、県立特別支援学校の高等部におきましては、選抜ではなく、選考を実施しております。この選考には入学定員は定めておりません。ただ、生徒、保護者には、受検を希望する特別支援学校を1月末日までに見学いただき、個別に教育相談を受けてもらうこととしております。これは、特別支援学校の教育内容等を十分にご理解いただき、障がいの状況を踏まえて特別支援学校で学ぶということをイメージしていただくためのものがございます。そのうえで受検時には事前に聴き取った内容に配慮した諸検査及び面接を行い、入学者を決定しております。入学定員がないこと、事前に教育相談を実施することから、特別支援学校高等部の選考に不合格はございません。

それでは、資料3ページをご覧ください。まず、2月9日実施の選考ですが、県立高等学校の前期選抜に合わせて実施いたしました。特別支援学校16校の合計として256名が受検し、256名全員を合格としました。内訳は、特別支援学校中学部からの合格者が107名、市町等の中学校からの合格者が149名でした。各学校の状況につきましては、資料に記述したとおりでございます。

続きまして、「2 再募集による選考」です。3月9日に実施した再募集でございます。これは、当該学校で教育相談を受けた者のうち、2月9日の選考を欠席した者、この欠席の理由ですが、体調不良等で参加できなかった者、それから、高等学校の前期選抜を受検して参加できなかった者のうち、不合格だった者が入っております。これらの者を対象に県立高等学校の後期選抜に合わせて実施をいたしました。特別支援学校4校で10名が受検し、合格者が10名です。内訳は、特別支援学校中学部からの合格者が4名、市町等の中学校からの合格者が6名でございます。

4ページをご覧ください。追選考についてでございます。3月10日に実施いたしました。これは、再募集を欠席した者を対象に、学校が指定した期日に行うこととしております。今年度は特別支援学校1校で実施され、1校1名が受検、合格いたしました。したがって、合格者の総数でございますが、選考と再募集及び追選考を合わせて267名となっており、内訳は、特別支援学校中学部から111名、市町等の中学校からの合格者が156名でございます。

平成29年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要についての報告は、以上でございます。よろしくお願いたします。

【質疑】

教育長

報告2については、いかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

報告3 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について（公開）

（山口生徒指導課長説明）

報告3 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について

三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について、別紙のとおり報告する。平

成 29 年 4 月 17 日提出 三重県教育委員会事務局 生徒指導課長。

説明は、小林子ども安全対策監から行います。

(小林子ども安全対策監説明)

ご説明いたします。1 ページをご覧ください。三重県いじめ問題対策連絡協議会は、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図ることなどを目的として、条例により設置しているものでございます。例年、2 回程度の会議を開催し、いじめ防止に関するそれぞれの機関、団体の取組及びさまざまな意見交換を開催しております。

今回、6 名の委員に人事異動がありましたので、それに伴い委員の任免を行いましたので、ご報告させていただきます。表にありますように、三重県警察生活安全部少年課長が、川上課長から 3 月 27 日付で前川課長に、4 月 1 日付で三重県市町教育長会の鈴鹿市教育委員会玉川教育長から中道教育長に、三重県立学校長会の県立伊勢高等学校の松井校長から県立四日市西高等学校の矢田校長に、三重県児童センターの中勢児童相談所の村上所長から清水所長に、三重県小中学校長会の津市立高野尾小学校の森校長から、津市立倭小学校の中谷校長に、三重県教育委員会事務局の学校教育担当の山口次長から宮路次長となりましたので、委員の任免を行ったものでございます。

3、4 ページの参考資料をご覧ください。まず、国のいじめ防止対策推進法、続いて、県のいじめ防止基本方針、そして、本協議会の設置条例を抜粋して載せてございます。4 ページは、本連絡協議会に関する県の条例の該当部分でございます。第 3 条で委員は 15 人以内となっておりますが、2 ページの一覧のように、現在、委員は 14 人でございます。

第 4 条の第 2 項で、委員の任期は 1 年で、補欠委員の任期は、前任者の残任期間となっております。現在の委員の任期は、昨年 7 月 1 日から本年 6 月 30 日までとなりますので、今回、新たに任命した委員は、本年 6 月 30 日までの任期となります。

なお、平成 29 年 7 月 1 日からの次期委員につきましては、その時点で改めてご報告をさせていただきます。

説明は、以上でございます。よろしく願いいたします。

【質疑】

教育長

報告 3 についてはいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

報告 4 平成 28 年度全国高等学校選抜大会等の結果について (公開)

(野垣内保健体育課長説明)

報告 4 平成 28 年度全国高等学校選抜大会等の結果について

平成 28 年度全国高等学校選抜大会等の結果について、別紙のとおり報告する。平成 29 年 4 月 17 日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

1 ページをご覧ください。本年 3 月末までに行われた全国高等学校選抜大会等の結果を掲載しております。この中には、既に表彰しました平成 28 年度優秀選手表彰の対象大会も含まれております。まず、団体種目ですが、第 42 回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会において、三重高等学校女子が、3 年ぶり 2 回目の優勝を飾りました。1 ページ下段には、個人種目の結果を載せております。

第 32 回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会では、県立四日市中央工業高校の清水さんが男子 77 キログラム級で 2 位、男子 94 キログラム級の四日市工業の荒川さんが 4 位、男子 77 キログラム級の亀山高校の増田さんが 7 位に入賞しています。

また、同種目の第 18 回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会において、亀山高校の吉田さんが 3 位に入賞しています。その他の結果については、一覧表をご覧ください。

個人種目のベスト 8 以上の入賞数は、のべ数で 13 種目でした。

以上でございます。

【質疑】

教育長

報告 4 については、いかがでしょうか。

— 全委員が本報告を了承する —

・審議事項

議案第 1 号 三重県地方産業教育審議会委員の任免について（非公開）

徳田高校教育課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第 2 号 平成 29 年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について（非公開）

野口小中学校教育課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第 3 号 三重県天然記念物紀州犬審査会審査員の任命について（非公開）

山本社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第 4 号 三重県天然記念物日本鶏審査会審査員の任命について（非公開）

山本社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。